

本検討会における検討内容

① 医療機関の整備方針（第1回、第2回にて議論済み）

都道府県ごとに、重症例を中心に外国人観光客受入の拠点となる医療機関と、観光スポットなどがある地域で軽症例の受入が可能な医療機関を選定

② 医療機関向けマニュアル、都道府県向けマニュアル（第1回にて議論済み）

訪日外国人に対する基本的対応について整理したマニュアルの整備

③ 自由診療における診療価格（第3回にて議論）

通訳等の付帯サービスの上乗せを含めた、自由診療である外国人観光客向け医療に関する価格の合理的な設定方法

④ 医療通訳者の養成・確保・配置（第2回、第3回にて議論）

医療通訳者の養成(例えば技能の認定)・確保・配置の考え方の整理

⑤ 医療通訳・ICT ツールの役割分担（第2回、第3回にて議論）

症状や緊急性に応じた通訳とICTツール活用の役割分担や、それぞれの整備方針の整理

⑥ 医療コーディネーター（第3回にて議論）

医療コーディネーターの役割を整理